

公益社団法人 大気環境学会の御案内

大気環境学会は、大気環境に関する学術的な研究・調査を行うとともに、その知識の普及をはかり、大気環境保全のために貢献することを目的として、幅広い分野の専門家が集まっている学際的組織です。

大気環境学会の歴史

昭和34年: 大気汚染研究全国協議会(任意団体)の設立
昭和38年: 厚生省・通商産業省の認可を得て社団法人化
昭和53年: 大気汚染研究協会に改称
昭和54年: 本学会議に登録
平成 7年: 社団法人大気環境学会に改称
平成24年: 内閣府の移行認定を受け、公益社団法人大気環境学会に移行
令和元年: 創立60周年記念事業の一環として「大気環境の事典」を発刊



大気環境学会の活動

・年会(研究発表会)の開催

昭和35年以降、毎年1回年会(研究発表会)を開催しており(9月)、大気環境に関わる多くの発表(約300件の口頭発表及び約100件のポスター発表)や様々な講演・シンポジウムが行われています。

令和5年の第64回年会

会期: 2023年9月13日(水)~9月15日(金)

会場: 国立研究開発法人産業技術総合研究所
つくばセンター 共用講堂

年会長: 兼保直樹(産業技術総合研究所)

・学会誌の発行

大気環境に関する研究論文や、その他の各種情報を掲載した大気環境学会誌(電子ジャーナル)を隔月で年6回発行し、大気環境に関わる研究の推進と情報誌共有に努めています。

また英文誌であるAJAE (Asian Journal of Atmospheric Environment) も発行しており、アジアにおける大気環境研究の国際的な情報発信にも努めています。



・支部活動

地域ごとの活動を支える集まり(支部)があり、各種講演会やセミナーを開催しています。現在は、北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州の6支部が活発に活動しています。

・分科会活動

テーマを絞った専門的な集まり(分科会)があり、それぞれのテーマに沿った講演会やセミナーを開催しています。現在は、植物分科会、都市大気環境モデリング分科会、酸性雨分科会、環境大気モニタリング分科会、健康影響分科会、モビリティ環境分科会、室内環境分科会、放射性物質動態分科会、臭気環境分科会、都市大気エアロゾル分科会が活発に活動しています。

・国際交流・日中韓交流

韓国大気環境学会および中国環境科学学会大気分会と学術交流を行っています。三学会合同で、国際シンポジウムの開催、AJAE誌の編集等の活動を行っています。

大気環境学会の会員

・対象

大気環境学会の設置目的に賛同していただければ、研究者、会社員、行政関係者、市民、学生等、どなたでも入会することができます。

・会員の特典

大気環境学会の会員は、年会に会員価格で参加することができ、年会で研究成果を発表することもできます。また、「大気環境学会誌」(電子ジャーナル 年6回、隔月発行)の配付が受けられ、同誌に投稿することもできます。

・会員の種別と会費

大気環境学会の会員には、正会員、法人会員、学生会員、賛助会員、名誉会員があります。年会費は、正会員 10,000円、学生会員 5,000円、法人会員A(学会誌購読会員) 10,000円、法人会員B(機関・法人会員) 30,000円、賛助会員 1口50,000円です。

・現在の会員数

令和5年6月時点の会員数は正会員703名、学生会員 108名、法人会員A112団体、法人会員B47団体、賛助会員15団体です。

・入会方法

下記のホームページから「入会申込書」をダウンロードして、所定の事項を入力の上、学会事務局までメールにてご提出くださいますようお願いいたします。

お問合せ先



公益社団法人
大気環境学会

<http://www.jsae-net.org/>

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358番地5

公益社団法人大気環境学会 事務局

TEL: 03-6824-9392 FAX: 03-5227-8631

jsae-post@as.bunken.co.jp